授業科目名	公益事業論Ⅰ	大学名	白鷗大学
科目区分		開講時期	前期（４月１１日～８月５日）
学部・学科等	経営学部経営学科	曜日	月曜日
必修・選択区分		時限（時間）	１時限（９時００分～１０時３０分）
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	本校舎
担当教員名	蟻生　俊夫		
電話番号（代表者名）	0285-22-1111	e-mail アドレス	gakumu@ad.hakuoh.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	＜授業の目標及びねらい＞ 現在、電力・ガス、通信、鉄道・航空など公益事業の分野では、規制緩和や民営化の動きが急速に進展し、経営上、さまざまな変化が起こっている。本講では、こうした動きをグローバルな視点から概観する。そして、それぞれの業界において、その歴史や特徴、理論等を踏まえ、新規参入と料金設定に対する規制が実際にどのように適用されているか、具体的な事例にもとづき紹介していく。さらに、規制緩和および民営化の及ぼす影響について、価格変化のみならず、サービス多様化や組織改革などの幅広い側面から評価、確認する。 欧米、日本の規制緩和や民営化の経緯、現状を把握する。また、公企業・公益事業経営の具体例として、郵便、航空、電気通信、水道、バス、鉄道、電気などの事業の歴史、会社形態の変遷、料金規制、特徴などを理解する。さらに、電気事業については、停電や地球温暖化などの幅広い影響まで解釈できるようにする。 ＜前提とする知識・経験＞ 前提科目；企業論、経済原論 関連科目；公益事業論Ⅱ、経営戦略論、経営分析論、交通論、経営組織論、企業関係法 公企業、公益事業を理論的に考察、検討していくことが中心となり専門的な性格がやや強い。 ＜授業内容と具体的な進め方＞ 講義では、具体的事例を紹介しながら平明でわかりやすい解説を心がける。また、何らかの理由で欠席しても理解できるよう１回の講義で１つのテーマが完結する内容にしていく。より理解しやすくなるよう、最初にプリントを配付し随時説明を加えていく。パワーポイント（パソコン）や DVD ビデオを用いた講義も予定している。 ＜授業計画＞ 詳細は Web シラバスを確認してください。 ＜教科書・参考書・教材と入手方法＞ 特定の教材は用いない。 ＜成績評価法＞ ①具体的な評価方法 中間試験、期末レポート、豆テスト、ノートチェックにもとづき評価する。 ②評価方法の比率 原則として中間試験 40%、期末レポート 30%、豆テスト 20%、ノートチェック 10%の比率で判定する。 ＜教員からのメッセージ＞		